

F I 7 0 3

NET IMPRESS
フラッシュマイコンプログラマ用
コントロールモジュール

代表マイコン：TC397

インストラクションマニュアル

株式会社DTSインサイト

改訂履歴

| 版 | 発行日付 | 変更内容 |
|-----|------------|----------|
| 第1版 | 2017.09.27 | 新規作成 |
| 第2版 | 2017.12.04 | UCB 領域対応 |
| 第3版 | 2018.01.24 | エラー修正 |

おことわり

- 1) 本書の内容の全部または一部を、無断転載することは禁止されています。
- 2) 本書の内容は、改良のため予告なしに変更することがあります。
- 3) 本書の内容について、ご不審な点やお気付きの点がございましたらご連絡ください。
- 4) 本製品を運用した結果の内容の影響につきましては、3)に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。

© DTS INSIGHT CORPORATION. All Rights Reserved.

Printed in Japan

目次

| | |
|---|----|
| 1. 概要 | 3 |
| 2. 仕様 | 4 |
| 2-1. 対象マイコンと仕様 | 4 |
| 2-2. 機種固有のパラメータ設定 | 6 |
| 2-2-1. 【 Parameter Table 1 ウィンドウの設定 】 | 6 |
| 2-2-2. 【 Basic Operation ウィンドウの設定 】 | 11 |
| 2-2-3. 【 Parameter Table 2 ウィンドウの設定 】 | 15 |
| 2-3. デバイスファンクションと実行機能 | 16 |
| 2-4. UCB領域 | 17 |
| 2-4-1. 概要 | 17 |
| 2-4-2. YDDファイル | 17 |
| 3. ターゲットシステムとの接続と専用コネクタ | 18 |
| 3-1. 信号一覧表 | 18 |
| 3-2. 代表的な接続例 | 19 |
| 3-3. 制御信号波形 | 21 |
| 3-4. プローブ | 23 |
| 4. 代表マイコン以外への適用 | 24 |
| 4-1. パラメータ変更 (NET IMPRESSのキーボードを使って) | 24 |
| 4-2. 対象マイコンの変更 (リモートコントローラを使って) | 24 |
| 4-3. リモートコントローラによるパラメータの変更方法 | 25 |
| 5. YIMフォルダ管理 | 26 |
| 5-1. YIMフォルダによる段取り替え | 26 |
| 5-2. 定義体交換方法 | 27 |
| 6. FI703固有のエラーメッセージ | 28 |
| 6-1. 概要 | 28 |
| 6-2. エラーメッセージ一覧 | 28 |
| 7. ご利用上の注意 | 29 |

1. 概要

FI703は、NET IMPRESS オンボードフラッシュマイコンプログラマ用のコントロールモジュールです。

FI703は、**Infineon社製：TC397XA-256F**を代表機種とする、これと同一のアルゴリズム・プロトコルで書き込み可能なフラッシュメモリ内蔵マイコンを対象とします。

書き込み制御情報を内蔵したコンパクトフラッシュカードで構成されます。

本製品は、**AF430/HSM**でご利用頂けます。

< ご注意 >

コントロールモジュールでは、当該代表マイコンと同一のアルゴリズム・プロトコルをもつ、他のマイコンの書き込みが可能です。

パラメータの書き換えについては、第4章をご参照ください。

必ずお客様がお使いになれるフラッシュメモリ内蔵マイコン用のマイコンパックと組み合わせてご使用ください。

書き込み方式の異なるマイコンに対するご利用は、ターゲットマイコン及びそれを含むユーザシステムを破壊する恐れがあります。

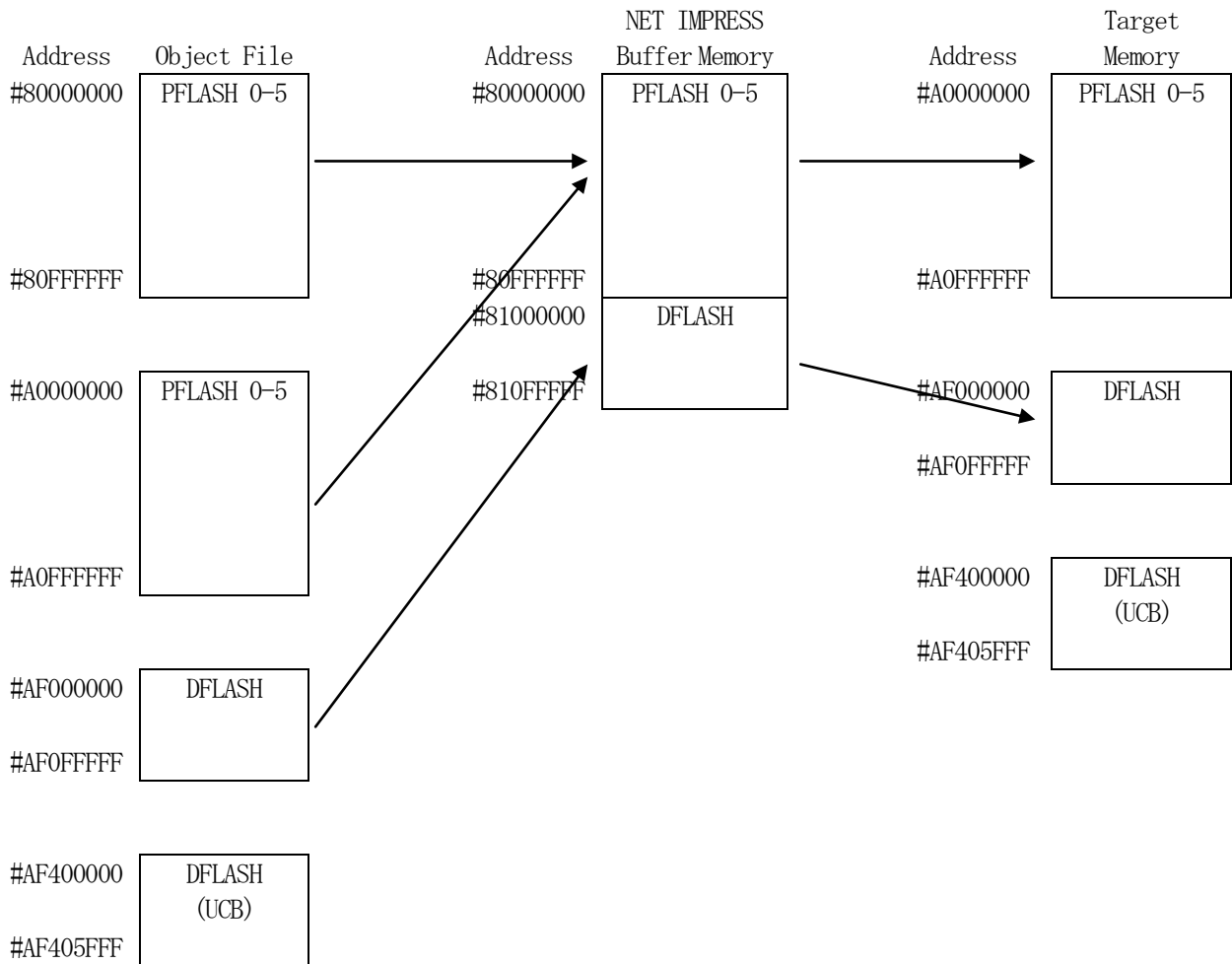
2. 仕様

2-1. 対象マイコンと仕様

特に記載なき項目は、NET IMPRESS 標準に準じます。

| 型名 | F I 7 0 3 |
|--------------------------|---|
| ターゲットマイコン | F I 7 0 3 M x x マイコンパックで規定 |
| フラッシュメモリ容量 PFLASH | 同上 |
| DFLASH | 同上 |
| フラッシュメモリアドレス PFLASH | 同上 |
| DFLASH | 同上 |
| ターゲットインタフェイス | JTAGインタフェイス 1. 2.5M/2.5M/3.3M/5M/10M bps <input type="checkbox"/> MSBファースト <input checked="" type="checkbox"/> LSBファースト |
| デフォルト | F I 7 0 3 M x x マイコンパックで規定 |
| 書き込み時のターゲット マイコン動作周波数 | 同上 |
| 書き込み時のターゲット インタフェイス電圧 | 同上 |

* 1 : NET IMPRESS 上のバッファメモリには以下のように仮想的に配置されます。
(TC 3 9 7)



NET IMPRESS のバッファメモリの見え方は以下表のようになります。

| メモリ名称 | 本来の先頭アドレス | NET IMPRESS の バッファメモリ先頭アドレス |
|-----------|-----------|--------------------------------|
| PFLASH0-5 | #A0000000 | #80000000 |
| DFLASH | #AF000000 | #81000000 |

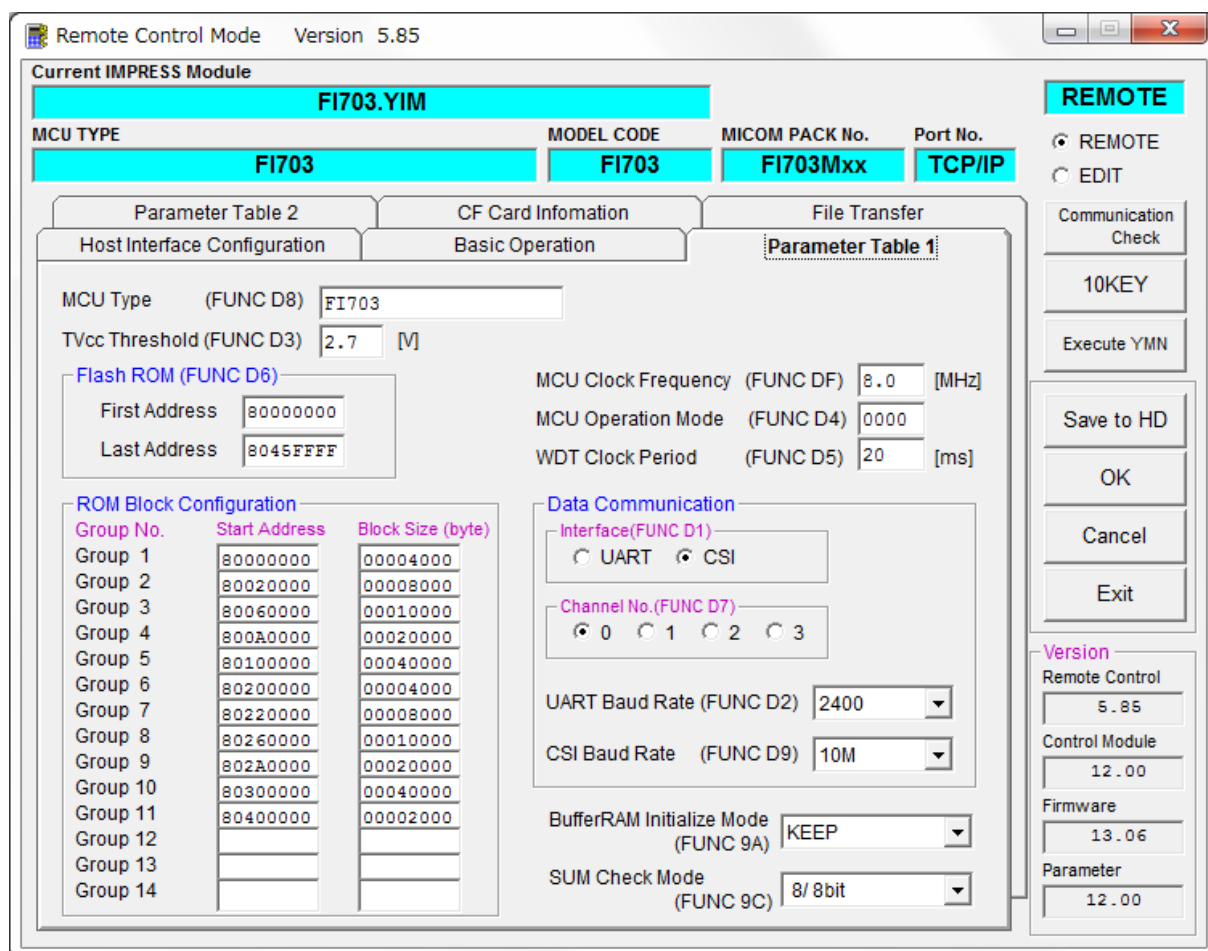
* UCB 領域のデータは “*.YDD” ファイルから読み出します。

2-2. 機種固有のパラメータ設定

AZ490（リモートコントローラ：Windows上で動作）を利用して次の初期設定を行います。リモートコントローラのご利用方法については、AZ490：リモートコントローラのインストールマニュアルをご参照ください。

2-2-1. 【Parameter Table 1 ウィンドウの設定】

Parameter Table 1 画面上で、ターゲットマイコンにあったパラメータ設定を行います。



①TVcc Threshold【FUNC D3】

ターゲットマイコンの動作電圧の下限値から0.1V程度低い値を設定頂くことを推奨致します。
NET IMPRESSは、ターゲットマイコンの動作電圧（TVcc）を監視しており、この電圧がここで設定する電圧値以上の時に、デバイスファンクションを実行します。
NET IMPRESSでのTVccスレッシュホールドの設定は、NET IMPRESSのインストラクションマニュアル【5-4-5 TVccスレッシュホールド設定】をご参照ください。

②Flash ROM【First/Last Address】【FUNC D6】

マイコンに内蔵されているフラッシュメモリ領域（First/Last Address）を設定してください。
NET IMPRESSでのキー操作(FUNC D6)では、Flash ROMの設定はできず、表示のみとなります。
NET IMPRESSインストラクションマニュアル【5-4-8 フラッシュメモリ領域表示】をご参照ください。

③ROM Block Configuration

フラッシュメモリのブロック構成を設定します。

< ブロック情報テーブル >

ブロック情報テーブルは、ブロックグループNo.、ブロックグループのスタートアドレス、ブロックサイズの3情報からなります。

ブロックグループNo. : Group 1~Group 14までの14 Groupが指定できます。
連続したブロックサイズの等しい一群のブロックを一つのブロックグループとして、アドレスの小さい方から、小さい番号のブロックグループ番号を付与します。

スタートアドレス : ブロックグループの開始アドレスです。
このアドレスからブロックサイズで定められた大きさのブロックが連続して並び、一つのブロックグループを構成します。

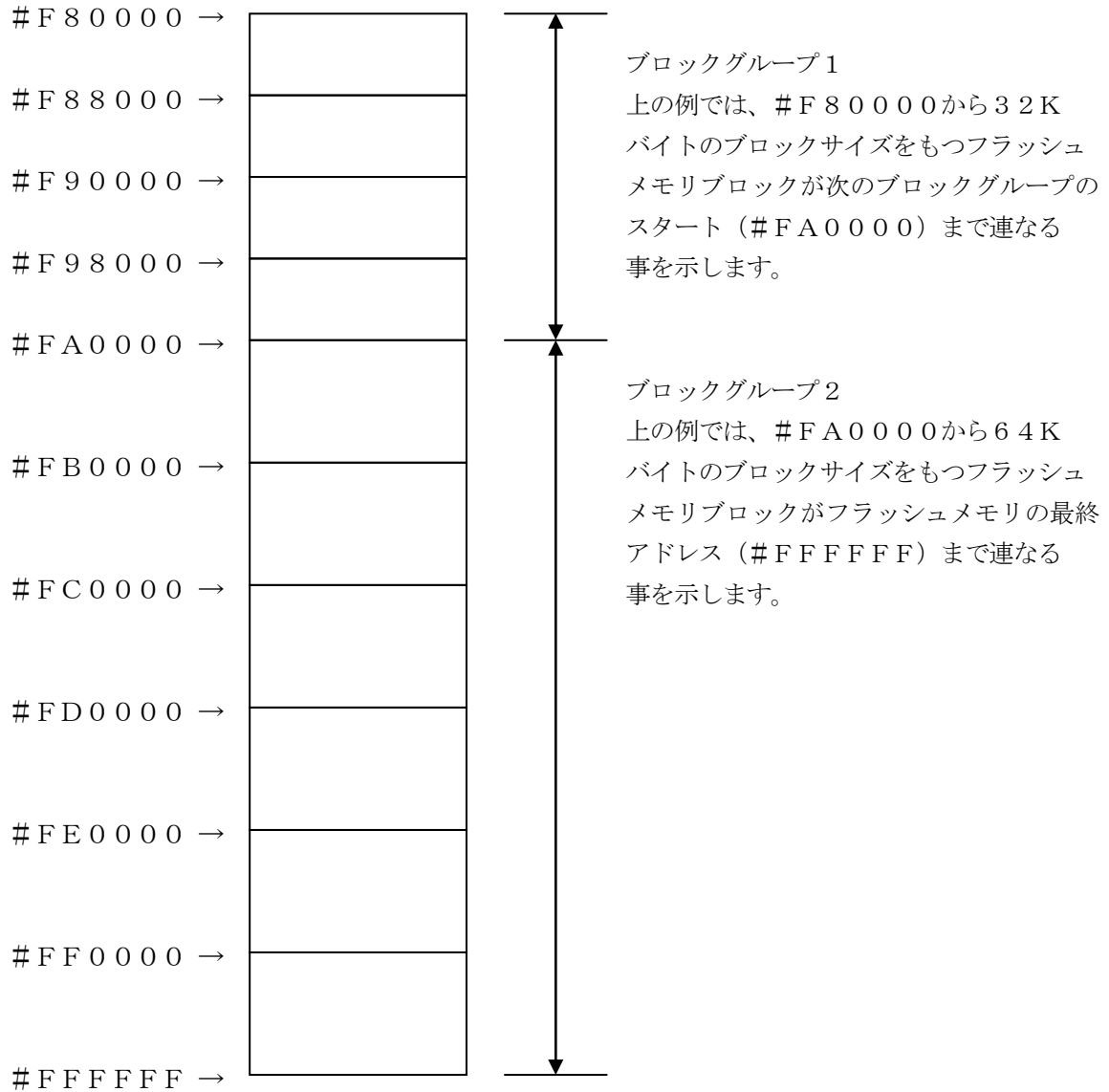
ブロックサイズ : NET IMPRESSは、次の（ブロック）グループアドレスまで、このブロックサイズで定められたサイズのブロックが連続して配置されるものと解釈されます。
また、**ブロックサイズを1にするとアクセス禁止領域**となります。アクセス禁止領域はデバイスファンクション実行領域内でも、書き込み・消去等が実行されません。

最終ブロックは、ブロックスタートアドレス及びブロックサイズに“0”を記入します。

例)

| ブロックグループNo. | スタートアドレス | ブロックサイズ |
|-------------|-----------|-----------|
| 1 | #00F80000 | #00008000 |
| 2 | #00FA0000 | #00010000 |
| 3 | #00000000 | #00000000 |

スタートアドレス



④MCU Clock Frequency 【 FUNC D F 】

本コントロールモジュールでは、設定は不要です。

⑤MCU Operation Mode 【 FUNC D 4 】

UCBの処理設定を行います。

| 値 | LCD | E.P.R | | | |
|------|-------|------------|--|--|--|
| 0000 | St'd | UCB 書き込み無効 | | | |
| 0001 | Opt.1 | UCB 書き込み有効 | | | |

⑥WDT Clock Period 【 FUNC D 5 】

NET IMPRESS は、オンボードプログラミング中に定周期のクロックパルスを出力する機能を持っています。この周期を利用する場合はWDT周期の設定を行います。

定周期パルスは、3-1信号一覧表のWDT (15ピン端子) 信号から出力されます。

NET IMPRESS でのWDT設定は、NET IMPRESS のインストラクションマニュアル【5-4-7 ウォッチドックタイマ設定】をご参照ください。

⑦Data Communication

NET IMPRESS とターゲットマイコン間の通信設定を指定します。

本コントロールモジュールでは、ウィンドウの各項目を次のように設定してください。

・通信路選択 【 FUNC D 1 】

本コントロールモジュールでは、設定は不要です。

・Channel No. 【 FUNC D 7 】

本コントロールモジュールでは、設定は不要です。

・UART Baud Rate 【 FUNC D 2 】

本コントロールモジュールでは、設定は不要です。

・CSI Baud Rate 【 FUNC D 9 】

JTAGインタフェースの通信速度を選択します。

NET IMPRESS での通信速度設定は、NET IMPRESS のインストラクションマニュアル【5-4-4 CSI通信速度設定】をご参照ください。

⑧MCU Type 【 FUNC D 8 】

この項目へ設定された内容が、ウィンドウ左上部のMCU Type 及びNET IMPRESS 本体上に表示されます。

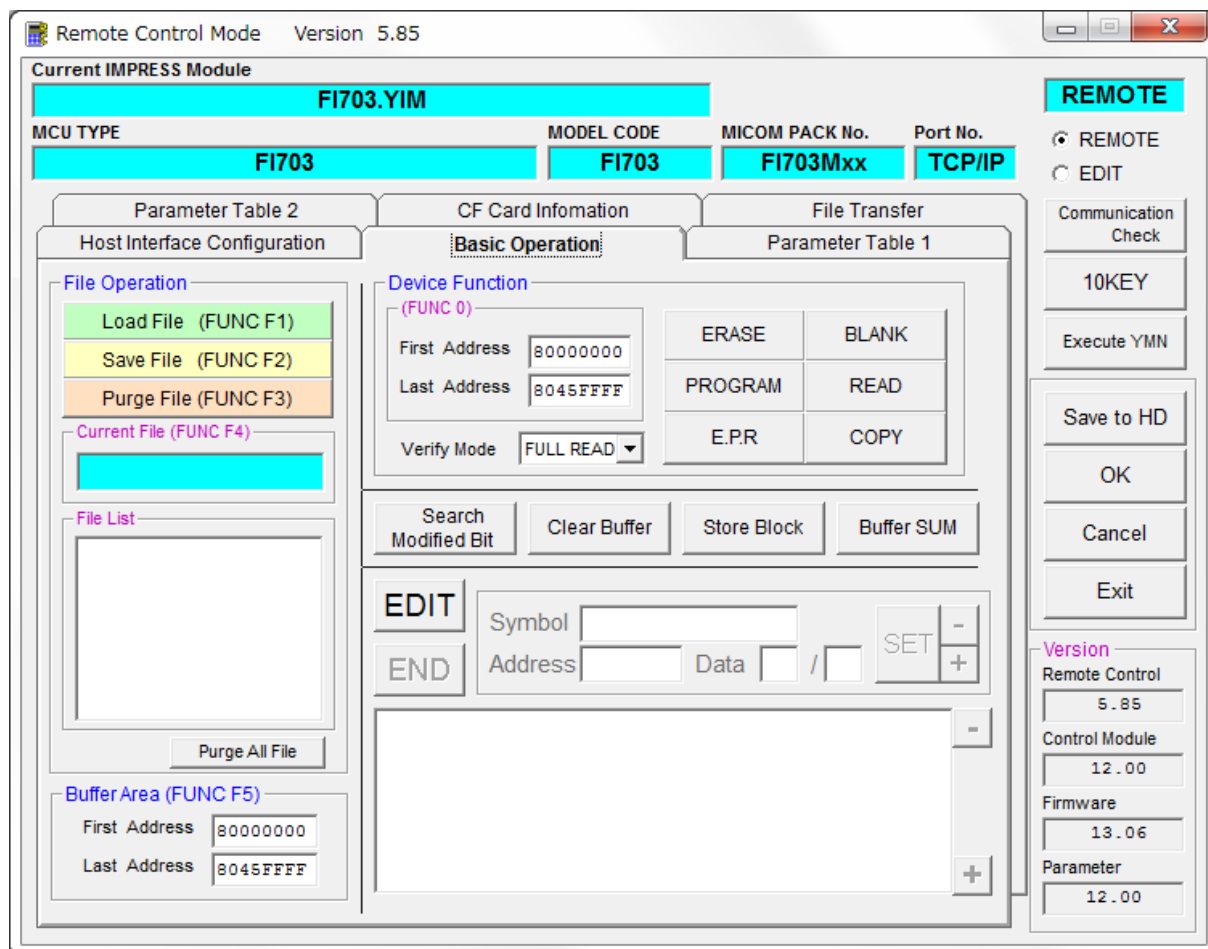
マイコンの型名、お客様の装置型名など任意の文字を16桁まで入力できます。
NET IMPRESSでの表示型名変更は、NET IMPRESSのインストラクション
マニュアル【5-4-10 表示型名変更】をご参照ください。

⑨OK

Parameter Table 1 ウィンドウ内容を、コントロールモジュールに転送するキー
です。①～⑧の設定変更後は、他のウィンドウに移る前に必ず、OKキーを押してください。
OKキーが押されなければ、変更したパラメータは反映されません。

2-2-2. 【 Basic Operationウィンドウの設定 】

Basic Operationウィンドウ上では、次の3項目の設定を行います。



①Device Function【FUNC 0】

マイコンへのデバイスファンクションの対象領域を設定します。

通常は、2-2-1. ②項のFlash ROM領域と同じ設定にします。

デバイスファンクションアドレス【FUNC 0】は、その設定アドレス値により、図2-2-2-1のようにフラッシュメモリのブロック境界アドレスに自動アライメントされます。

この自動アライメントされた領域に対して、デバイスファンクションが実行されます。

②Buffer Area【FUNC F5】

NET IMPRESSのバッファメモリ上のデータをセーブする領域、または、書き込みファイルをバッファメモリにロードする領域を設定します。

通常は、2-2-1. ②項のFlash ROM領域と同じ設定にします。

図2-2-2-2は、Device Function【FUNC 0】、Buffer Area【FUNC F5】、Flash ROM Area【FUNC D6】の関係を示しています。

③Verify Mode

デバイスファンクションE. P. R、Program時に実行されるRead Verifyは、Verify Mode【FUNC 99】で設定されているリードベリファイが実行されます。NET IMPRESSでのベリファイモード設定は、NET IMPRESSのインストラクションマニュアル【5-4-14 ベリファイモード切替】をご参照ください。

- SUMリードベリファイ

マイコンからProgramを行った領域のSUM値を読み出し、プログラマがProgram時に転送した書き込みデータのSUM値と比較します。

- FULLリードベリファイ

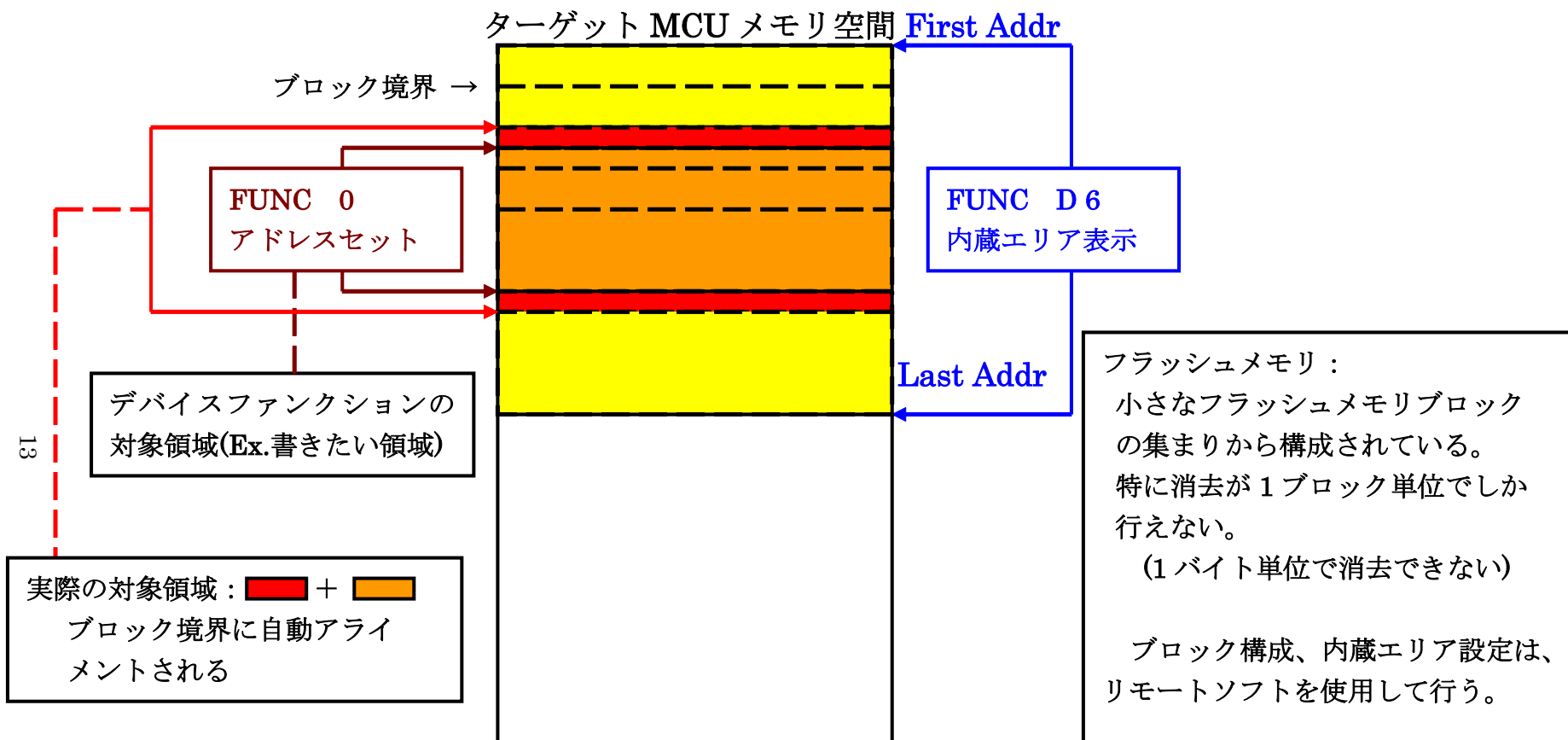
プログラマがマイコンへProgramを行った領域のデータを送信し、マイコン側でフラッシュメモリデータとの比較を行います。

④OK

ウィンドウ内容を、コントロールモジュールに転送するキーです。

①～③の設定変更後は、他のウィンドウに移る前に必ず、OKキーを押してください。

OKキーが押されなければ、変更したパラメータは反映されません。



FUNC 0 アドレスセットとアドレスアライメント

図 2-2-2-1

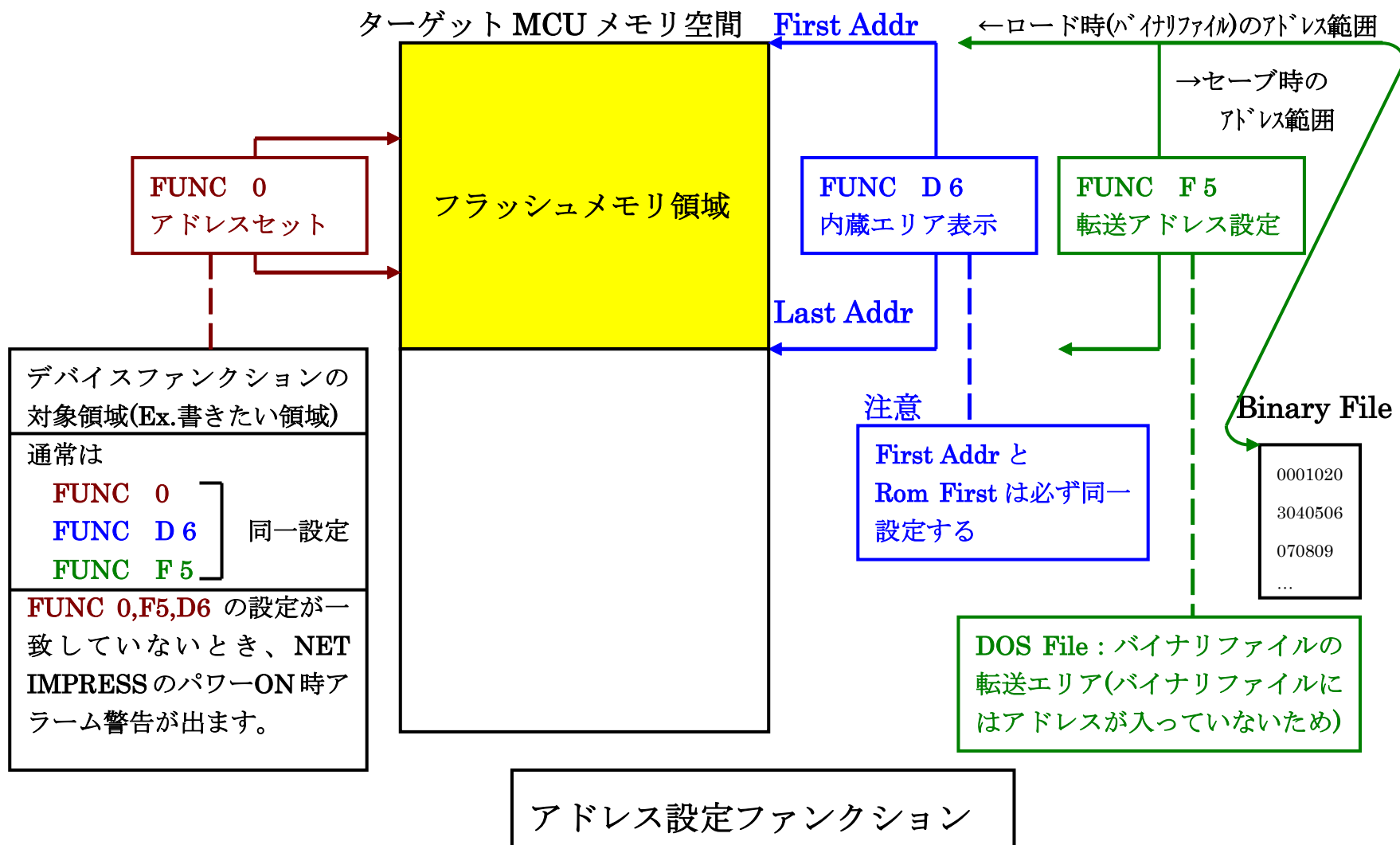


図 2-2-2-2

2-2-3. 【 Parameter Table 2 ウィンドウの設定 】

この設定ウィンドウには、マイコン固有パラメータが設定されていますので、変更しないでください。
 設定変更が必要な場合は、事前に必ず弊社サポートセンタまで、ご相談ください。

Remote Control Mode Version 5.85

Current IMPRESS Module: **FI703.YIM**

MCU TYPE: **FI703** MODEL CODE: **FI703** MICOM PACK No.: **FI703Mxx** Port No.: **TCP/IP**

Host Interface Configuration Basic Operation Parameter Table 1

Parameter Table 2 CF Card Information File Transfer

Specific Parameter for this Control Module (FUNC 8X)

| | 00 | 01 | 02 | 03 | 04 | 05 | 06 | 07 | 08 | 09 | 0A | 0B | 0C | 0D | 0E | 0F |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 0C0: | 03 | 30 | 04 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 27 | 10 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 |
| 0D0: | 40 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 |
| 0E0: | 02 | C4 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 50 | |
| 0F0: | 80 | 64 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | E0 | 00 | 70 | 10 | 00 | 00 |
| 140: | 01 | 0F | 06 | 84 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | EF | FF | 00 | 00 | 00 | 00 |
| 600: | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 80 | 00 | 00 | 00 |
| 610: | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 40 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 |
| 620: | 80 | 00 | 00 | 00 | AF | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 |
| 630: | 00 | 40 | 00 | 00 | 00 | 06 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 |

- WARNING -
 These parameter should not be changed.
 Contact to DTS INSIGHT in details.

REMOTE
 REMOTE
 EDIT
 Communication Check
 10KEY
 Execute YMN
 Save to HD
 OK
 Cancel
 Exit

Version
 Remote Control: 5.85
 Control Module: 12.00
 Firmware: 13.06
 Parameter: 12.00

2-3. デバイスファンクションと実行機能

NET IMPRESSのデバイスファンクション起動時に実行される機能は以下のとおりです。

| デバイスファンクション | | ERASE | BLANK | PROGRAM | READ | E. P. R | COPY |
|------------------|-------------------------|-----------------------------|---------------|--|--------------|--|---------------------------|
| 対象メモリ域 | 【FUNC 0】によるフラッシュメモリ一部領域 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 【FUNC D6】によるフラッシュメモリ全領域 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | ブロックコンフィグレーションによる書き込み禁止 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| フラッシュメモリに対する実行動作 | | <p>■Erase</p> <p>■Blank</p> | <p>■Blank</p> | <p>□Erase</p> <p>□Blank</p> <p>■Program</p> <p>■Read</p> | <p>■Read</p> | <p>■Erase*1</p> <p>■Blank*1</p> <p>■Program</p> <p>■Read</p> | <p>■Copy</p> <p>■Read</p> |
| 備考 | | UCB 処理は Func D4 で設定します。 | | | | | |

*1：直前のBlankでブランク状態と判定された場合はEraseとBlankは実行しません。

2-4. UCB領域

2-4-1. 概要

フラッシュメモリには特定の用途に使用されるデータを格納する領域としてUCB (User Configuration Block) と呼ばれる領域があります。

UCB領域の書き込みには、拡張子が“YDD”となるファイル (YDDファイル) を使用します。

FUNC D4の設定によりUCBブロックの書き込みが有効な場合、YIMフォルダのYDDファイルからデータを読み出し書き込みを行います。YDDファイル存在しない場合にはエラーとなり処理は行われません。

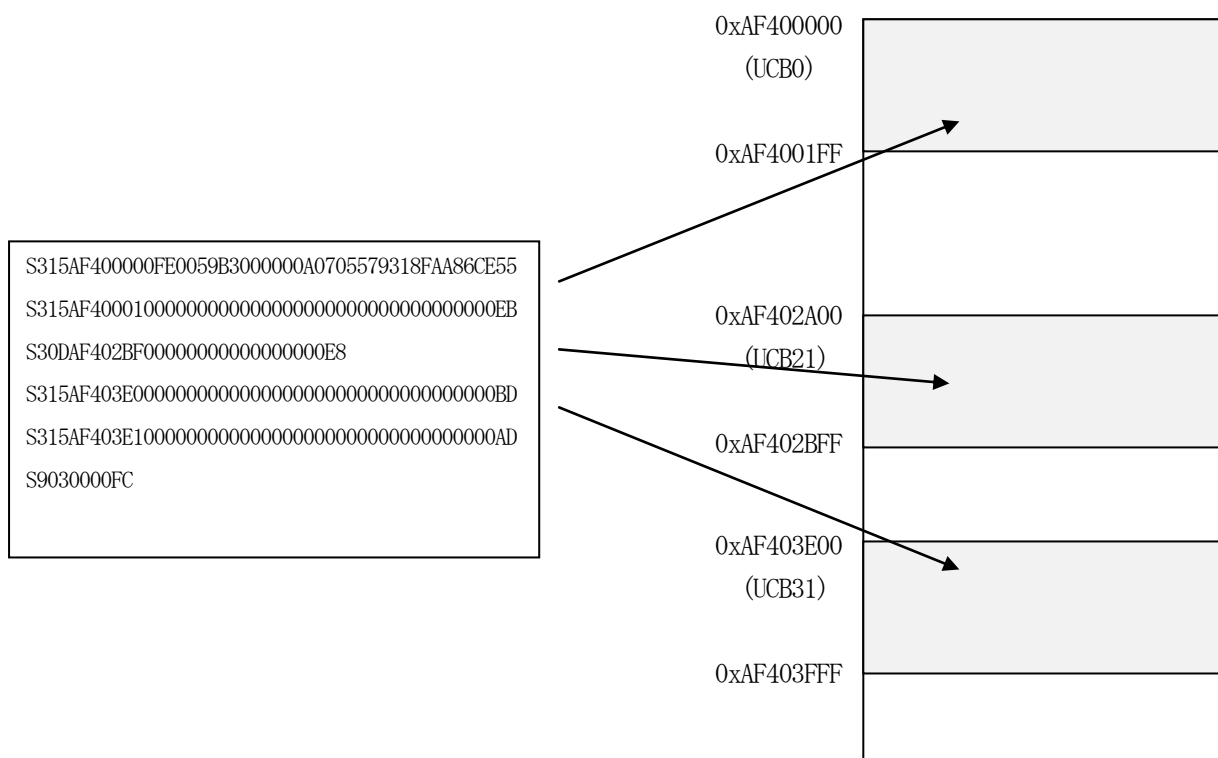
2-4-2. YDDファイル

UCB領域の書き込みにおいて、YDDファイルに書き込みデータを格納します。

YDDファイルはYIMフォルダに1つだけ配置することとします。2つ以上存在する場合はエラーとします。YDDファイルに格納するデータはモトローラSフォーマットとします。UCB領域のアドレスのデータを書き込みデータとして使用し、範囲外のデータは無効とします。

Sレコードはアドレス順とし、1つのレコード内のデータはUCBのセクタサイズ512Byteの境界を越えないこととします。

YDDファイルにデータが格納されたセクタのみ書き換えを行います。書き込みはセクタ単位で行い、データが存在しないアドレスは0が書き込まれます。



3. ターゲットシステムとの接続と専用コネクタ

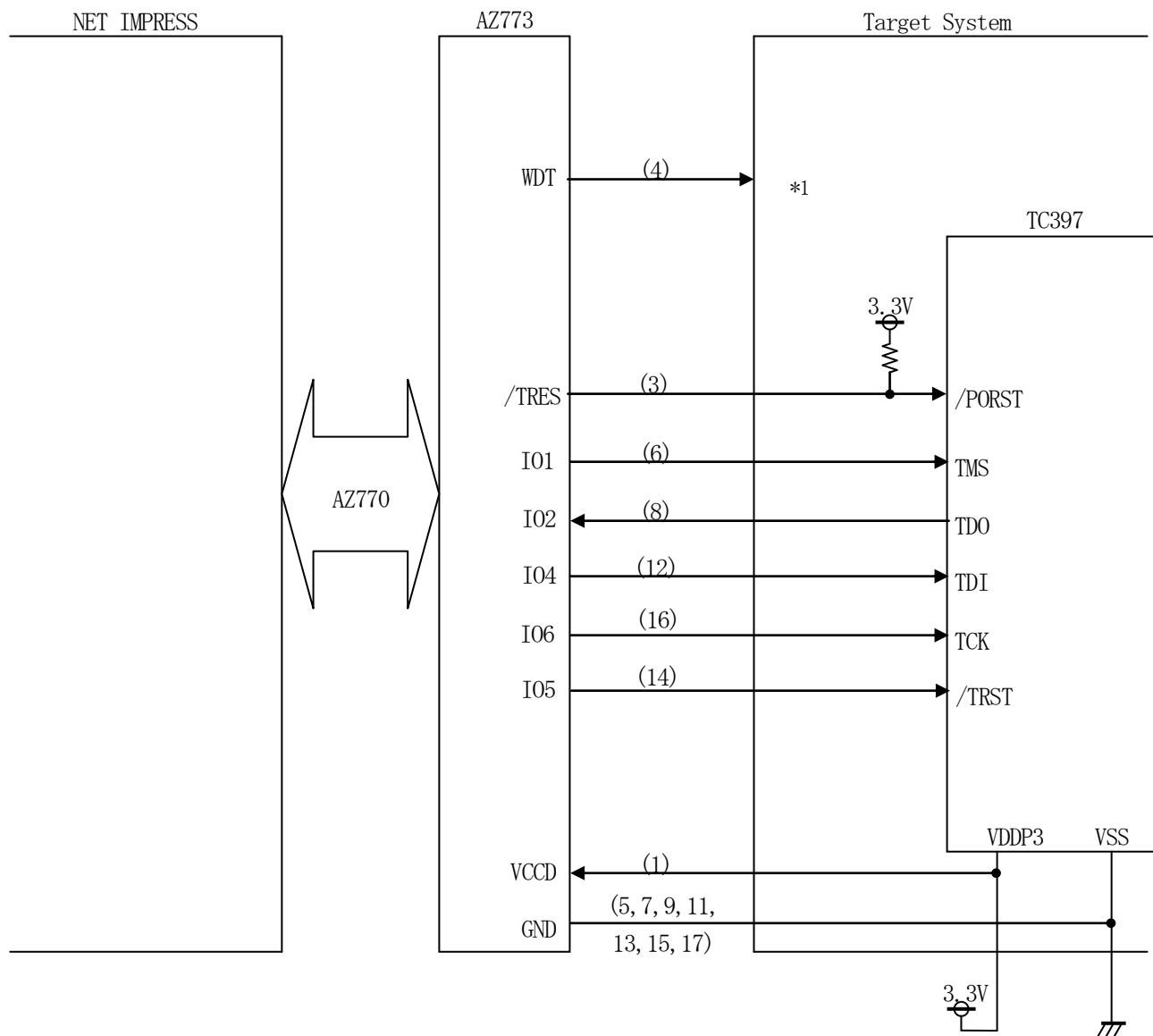
3-1. 信号一覧表

本コントロールモジュールをご利用いただいた場合のターゲットプローブコネクタ端の信号表を示します。

| MCU Signal | Standard Signal Name | | | | MCU Signal |
|------------|----------------------|----|-----|------|------------|
| VDDP3 | VCCD | ① | 2 | VCCS | |
| /PORST | /TRES | ③ | (4) | WDT | |
| VSS | GND | ⑤ | ⑥ | I01 | TMS |
| VSS | GND | ⑦ | ⑧ | I02 | TDO |
| VSS | GND | ⑨ | 10 | I03 | |
| VSS | GND | ⑪ | ⑫ | I04 | TDI |
| VSS | GND | ⑬ | ⑭ | I05 | /TRST |
| VSS | GND | ⑮ | ⑯ | I06 | TCK |
| VSS | GND | ⑰ | 18 | I07 | |
| | I08 | 19 | 20 | I09 | |
| | I010 | 21 | 22 | I011 | |
| | I012 | 23 | 24 | I013 | |
| | I014 | 25 | 26 | I015 | |
| | I016 | 27 | 28 | NC | |
| | NC | 29 | 30 | NC | |

- は、必ず接続頂く信号線です。
- () は、必要な時のみ接続してください。
- も () も印のない信号線はターゲットシステムの回路には接続しないでください。
詳細については、弊社サポートセンタにお問い合わせください。
- 各信号線のインタフェース回路については、プログラマ本体の『Instruction Manual』をご覧ください。

3-2. 代表的な接続例

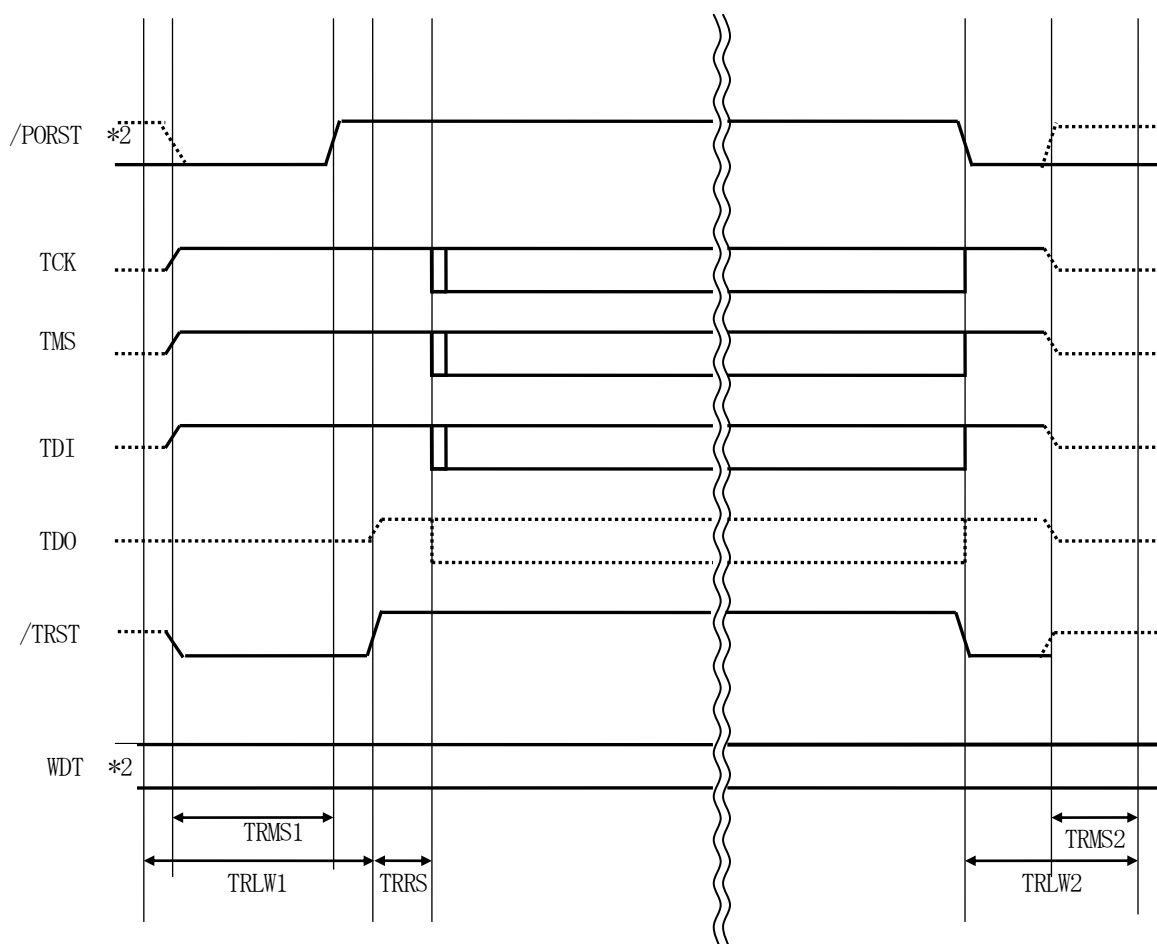


ターゲットシステムとの接続例

* 1 : オプション機能です。

- ① “書き込みモード信号” など一部の書き込みに使用する信号がユーザシステムとの共用端子に定義されている場合には、それらの信号のマルチプレクス回路をユーザシステムに実装してください。
マルチプレクス回路をユーザターゲットシステムにいていただくことにより、／T I C Sがネゲートされている時（デバイスファンクションを実行していない時）にNET IMPRESSが接続されていない（コネクタを外した）状態と同一の条件をつくることができます。
書き込み制御に使われるこれらの信号が、フラッシュマイコンから制御用専用信号線として定義されるターゲットシステムでは、マルチプレクス回路は不要です。
- ②WDT信号端子には、**[FUNC] [D] [5]** で定義されているクロック信号がNET IMPRESから出力されます。（常時出力）（オープンコレクタ出力）
フラッシュメモリへの書き込み中に、所定のクロック信号が必要なユーザ回路へ接続してご利用下さい。
- ③NET IMPRESSは、／TRES信号を設けてあります。
／TRES信号は、ターゲットシステム内でワイヤードオアをとり、マイコンの／RESET端子に接続していただけるよう、オープンコレクタ出力の信号としています。

3-3. 制御信号波形



| | MCU Specificatin | IMPRESS Spesification |
|-------|------------------|-----------------------|
| TRLW1 | | 300 ms (Min) |
| TRLW2 | | 100 ms (Min) |
| TRMS1 | | 200 ms (Min) |
| TRMS2 | | 50 ms (Min) |
| TRRS | | 100 us (Min) |

* 1 : " " は、HiZを示します。

* 2 : /TRES と WDT はオープンコレクタ出力です。

【動作手順】

- ①フラッシュプログラマの電源投入後、ターゲットシステムの電源を入れてください。
プログラマは電源投入直後からリセット信号をアサートし、WDT出力を開始します。

- ②マイコンのプログラミングモードが起動され、規定の通信回線を使ってNET IMPRESSとの通信を始めます。通信は、あらかじめ設定されている通信条件で行います。

- ③プログラミング終了後も、WDT信号（出力）から周期的なパルスが出力されつづけます。
また、リセット信号はデバイスファンクション非実行中、常にアサートされます。

3-4. プローブ

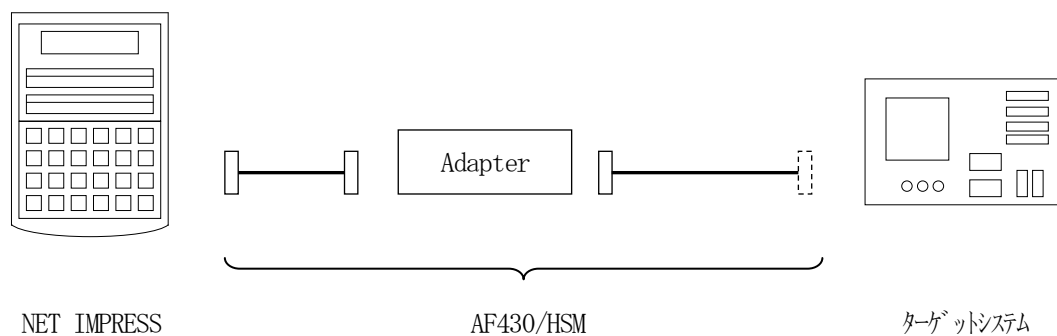
FI703を使ってプログラミングを行うためには、JTAG信号への変換アダプタを使用します。

<NET IMPRESS ↔ JTAG信号変換アダプタ>

AF430/HSMは、NET IMPRESSの標準入出力信号をJTAG信号に変換するアダプタを使用します。

このアダプタにより、JTAGプロトコルを用いたフラッシュROMプログラミングが可能なマイコンをサポートします。

下図にAF430/HSMの構成概要を示します。



ユーザターゲット側末端は、コネクタが付いていません。お客様のターゲットシステムにあわせて、コネクタを付けて頂く必要があります。

4. 代表マイコン以外への適用

ー パラメータテーブルの変更方法 ー

4-1. パラメータ変更 (NET IMPRESSのキーボードを使って)

NET IMPRESS インストラクションマニュアル【5-4. パラメータ設定】に示すファンクションコマンドで規定されるパラメータ (ファンクションD1~DF) については、NET IMPRESSのキーボード上で変更できます。

ターゲットシステムとの通信インタフェースやご利用になるターゲットシステムの電源電圧などがこの範囲に入ります。

< ご注意 >

マイコン内に内蔵されるフラッシュメモリブロック構成など、設定事項が多岐にわたる対象マイコン自体の変更は、NET IMPRESSのキーボードからは行えません。

(リモートコントローラ：AZ490をご利用ください。)

また、実在マイコンのパラメータリストは、弊社より供給されている場合があります。

詳細は弊社、または弊社代理店までお問い合わせください。

4-2. 対象マイコンの変更 (リモートコントローラを使って)

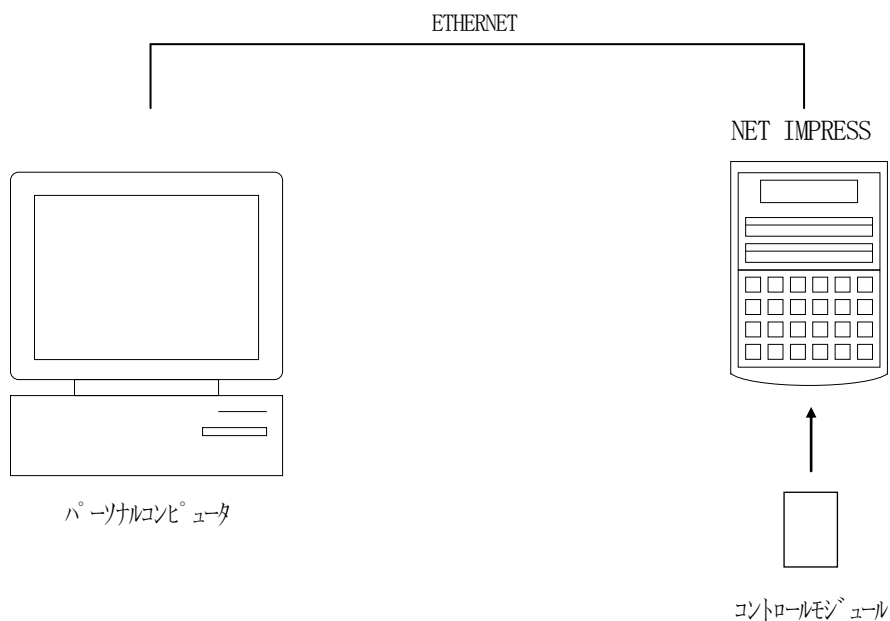
弊社では、PCからNET IMPRESSをリモート制御するためのリモートコントローラ (AZ490) を用意しております。リモートコントローラは弊社ホームページよりダウンロード可能です。

このリモートコントローラでは、NET IMPRESSのリモートコントロール機能のほかに、パラメータテーブルの設定、確認ができます。

リモートコントローラでは、パラメータテーブルを個々に設定する事ができ、変更可能なパラメータ設定対象は、以下のパラメータが含まれます。

- | | |
|-------------------|--|
| ①Device Type : | 対象デバイス名称が設定できます NET IMPRESS LCD上に表示される名称を変更できます |
| ②Flash Rom Area : | 当該マイコンのフラッシュメモリ領域が設定できます |
| ③Rom Block : | フラッシュメモリのブロック構成をRom Group毎にスタートアドレスとサイズを設定する事ができます これにより、同一プロトコル・アルゴリズムを持つ代表マイコン以外のマイコンに対する対応が可能となります |
| ④MCU Clock : | ターゲットマイコン動作クロック周波数の設定ができます |
| ⑤通信インタフェース : | ターゲットシステムとの通信インタフェースの設定ができます |
| ⑥その他 : | その他のマイコンの固有設定情報を変更する事ができます |

4-3. リモートコントローラによるパラメータの変更方法



パーソナルコンピュータ（IBM-PC）とNET IMPRESSをETHERNETケーブルで接続します。

NET IMPRESSには、ターゲットマイコン用のコントロールモジュールを実装しておきます。パーソナルコンピュータ（Windows環境）上で、リモートコントローラを動作させることで、NET IMPRESSに実装されたコントロールモジュールのパラメータテーブルを変更/確認することができます。

リモートコントローラ（AZ490）では、パラメータの一括ロード/セーブが行えます。一括してセーブすることができますので、同系列の各種デリバティブマイコンへのパラメータテーブル変更を容易に行うことができます。

また、この機能を使い、弊社ホームページよりダウンロードしたマイコンパックをコントロールモジュールにロードすることが容易に行えます。

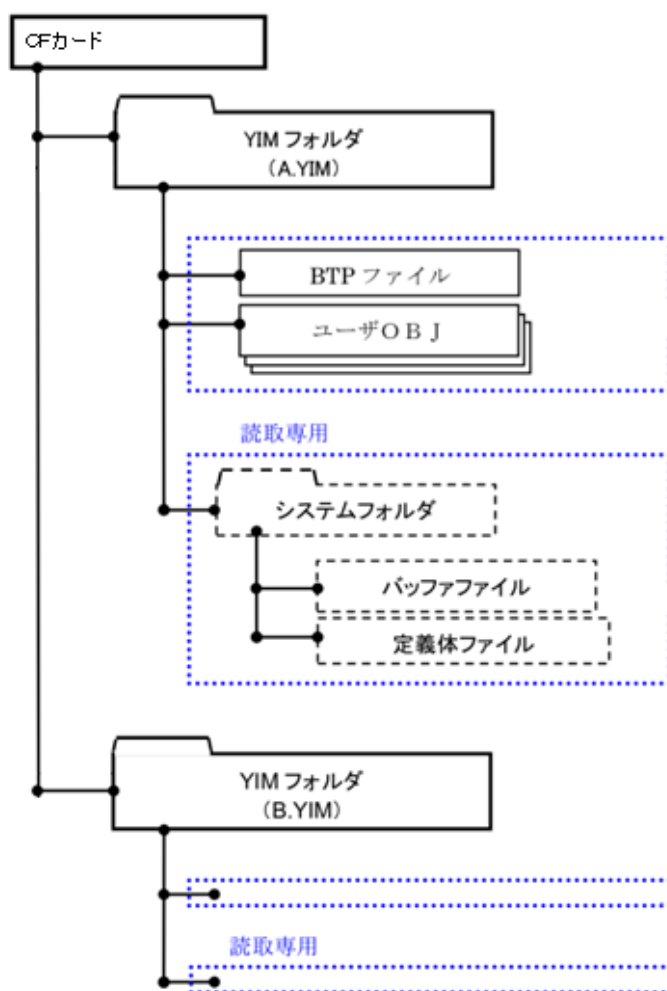
5. YIMフォルダ管理

5-1. YIMフォルダによる段取り替え

弊社ライタの仕様として、一連の書き込み制御用ファイル等をCFカード内のYIMフォルダで管理します。

そのため、異系列の書き込み仕様をもつマイコンに対しても、CFカードの交換なしに、リモートコントローラ（AZ490）のYIMフォルダ選択機能を用いて、スピーディな段取り換えを行うことができます。

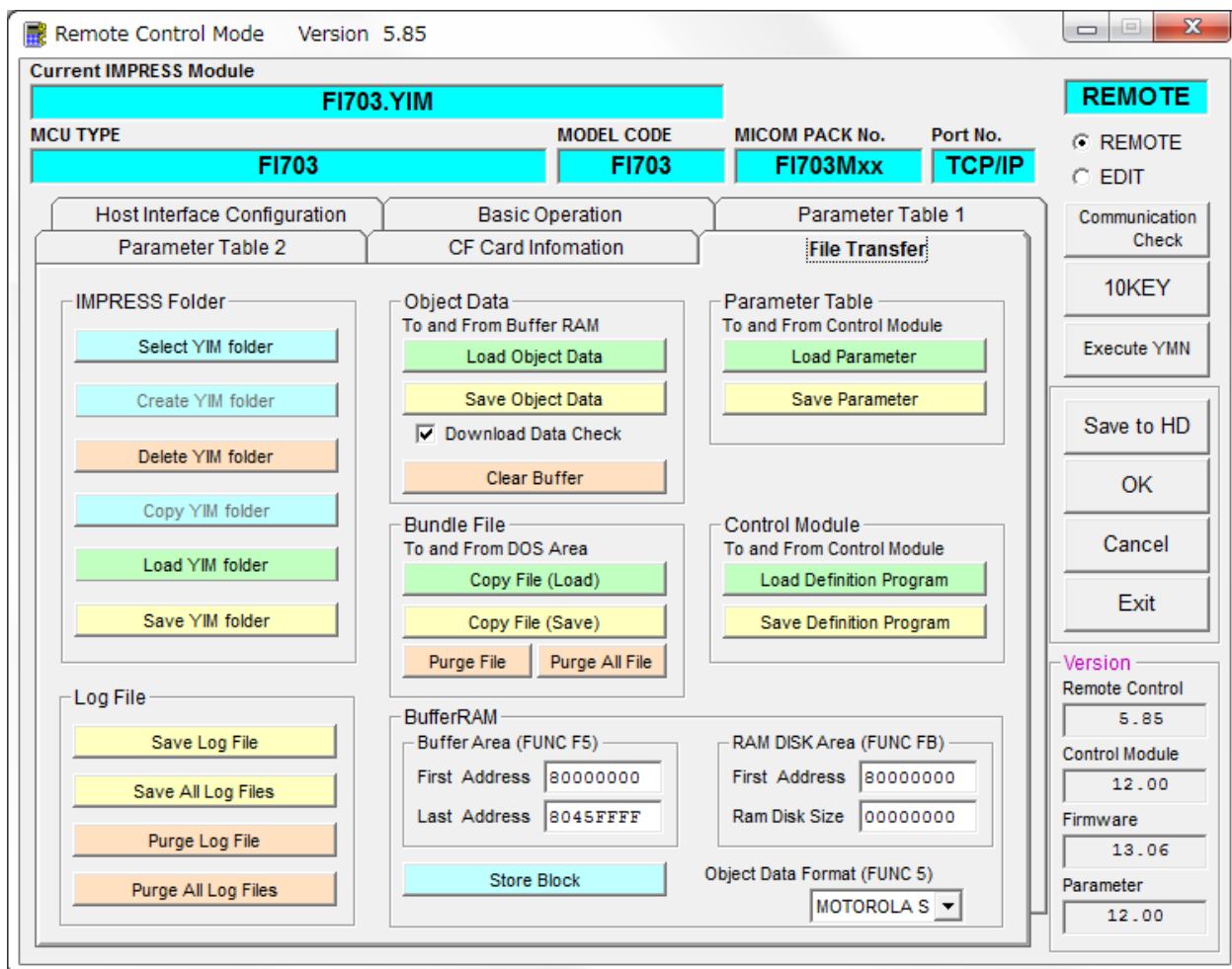
YIMフォルダにはあらかじめ定義体ファイルや各種書き込みに使用するファイルをロードしておく必要があります。



5-2. 定義体交換方法

定義体ライセンスが付加された、CFカードをNET IMPRESSに実装された状態にして、リモートコントローラ (AZ490) の定義体ダウンロード機能 (File Transfer画面の、Load Definition Program) を使用して、YIMフォルダへの定義体ダウンロードを行います。(NET IMPRESS単体では、この機能はご利用できません)

定義体ライセンスをご購入時に、弊社より提供されたCDの中にある定義体ファイル (xxx.CM) をYIMフォルダにダウンロードして頂きます。



6. F I 7 0 3 固有のエラーメッセージ

6-1. 概要

本コントロールモジュールでは、デバイスファンクション実行時の異常終了時に、特定のエラーメッセージを出力します。

本章に記載されている以外のエラーメッセージについてはNET IMPRESSのインストラクションマニュアルをご参照ください。

6-2. エラーメッセージ一覧

| エラーメッセージ | エラー要因/対策 | |
|----------------------------------|----------|--|
| 1121 DEVICE CONNECTION FAILED | 要因 | ターゲットとの接続に失敗しました。 |
| | 対策 | 正しく接続されているかご確認ください。 |
| 1125 MORE 2 YDD FILES | 要因 | YDDファイルが2つ以上存在します。 |
| | 対策 | YDDファイルは1つだけ配置してください。 |
| 1126 YDD FILE FORMAT ERROR | 要因 | YDDファイル形式に異常があります。 |
| | 対策 | YDDファイルの内容をご確認ください。 |
| 1127 YDD FILE SIZE ERROR | 要因 | YDDファイルサイズが大きすぎます。 |
| 1128 YDD FILE NOT FOUND ERROR | 要因 | YDDファイルが存在しません。 |
| 112A MORE 2 YID FILES | 要因 | Y I Dファイルが2つ以上存在します。 |
| | 対策 | Y I Dファイルは1つだけ配置してください。 |
| 112B YID FILE FORMAT ERROR | 要因 | Y I Dファイル形式に異常があります。 |
| | 対策 | Y I Dファイルの内容をご確認ください。 |
| 112C YID FILE NOT FOUND ERROR | 要因 | Y I Dファイルが存在しません。 |
| 113A ADAPTER INITIALIZE ERROR | 要因 | AZ773 の初期化に失敗しました。 |
| | 対策 | プローブ (AZ770) アダプタ (AZ773) が正しく接続されているかご確認ください。 |
| 113B JTAG ADAPTER ID ERROR | 要因 | AZ773 ではない別のアダプタが接続されています。 |
| | 対策 | アダプタ (AZ773) が正しく接続されているかご確認ください。 |
| 113C JTAG ADAPTER ERROR | 要因 | AZ773 との通信に失敗しました。 |
| | 対策 | プローブ (AZ770) アダプタ (AZ773) が正しく接続されているかご確認ください。 |
| 113D JTAG ADAPTER TIMEOUT | 要因 | ターゲットとの通信に失敗しました。 |
| | 対策 | プローブ (AZ770) アダプタ (AZ773) とターゲットが正しく接続されているかご確認ください。 |
| 113E ADAPTER NOT SUPPORTED | 要因 | アダプタ (AZ773) が非対応のバージョンです。 |
| | 対策 | — |

7. ご利用上の注意

- ①本コントロールモジュールは、弊社フラッシュマイコンプログラマ専用のコントロールモジュールです。弊社、フラッシュマイコンプログラマ以外ではご使用にならないでください。
- ②本コントロールモジュールは指定されたフラッシュマイコン専用のもので、他のマイコンへの書き込みには、書き込みを行うマイコン専用のコントロールモジュールをご利用ください。マイコンとコントロールモジュールとの対応を誤って使用すると、ターゲットシステムを破壊する恐れがあります。
- ③NET IMPRESSは、ターゲットシステムとのインタフェースIC（NET IMPRESS内部IC）電源用に数mAの電流をTVcc端子より消費いたします。
- ④デバイスファンクション又は、ファンクション実行中には、コントロールモジュールの脱着は、行わないでください。
コントロールモジュールアクセス中に、脱着してしまいますとコントロールモジュールを破壊する恐れがあります。
- ⑤フラッシュマイコンプログラマは、コントロールモジュールを実装した状態で動作します。